



題字 埼玉県立浦和第一女子高等学校 3年生 藤間 乙羽 様



高校生シンクタンクUN(*)研究所が 埼玉県議会議員に政策提言!



*UNとは「浦和西」の略

県議会では、県議会や県政への関心を高めてもらい、主権者教育を一層推進するため、今年1月、高校生と県議会議員との意見交換会を開催しました。意見交換会には、埼玉県立浦和西高等学校の生徒(1年生全9クラス 約360人)と県議会議員12人が参加しました。生徒たちは、グループごとに自分たちが住む地域の課題や困りごとを調べる事前学習を行い、課題に対する解決策を発表し、議員と意見交換を行いました。

地域課題	意見交換会で示された解決策
自治会の衰退化	入会方法の簡素化や、県や市が自治会に補助し、入会金・会費などを一部負担する。
町の活気を取り戻せ!	人を呼び込む(魅力を生かした町おこし)
見えない高齢者孤立を可視化する	高齢者孤立化リスク可視化システム(電気・ガス・水道の使用状況や、健康診断の受診状況などから孤立化のリスクを把握)
公共施設の充実化	図書館の平日の開館時間を長くすることや図書館カードの統一
子どもたちがのびのびと成長できるまちへ	子ども食堂を増やすことや公園の遊具の整備



▲発表の様子



▲議員との意見交換

詳細はこちら▶



主な内容

1 面

- ◆高校生シンクタンクUN研究所が埼玉県議会議員に政策提言!
- ◆議長あいさつ
- ◆2月定例会の動き
- ◆議決の概要

2・3 面

- ◆代表質問・一般質問
- ◆意見書・決議

4・5 面

- ◆予算特別委員会
- ◆主な質疑と答弁
- ◆令和8年度一般会計予算の概要

6・7 面

- ◆委員会レポート
- ◆主要会派から
- ◆新議員決まる

8 面

- ◆新たな委員会構成
- ◆オール埼玉で魅力を発信!
-本会議ほかで県産いちごをPR-
- ◆県議会クイズ **プレゼント付き**



議会だよりをスマホで読めます。



ブックシェルフ埼玉

議会だよりを電子書籍で読めます。



県議会公式 X

県議会の最新情報を発信します。



県議会マスコット「ポッコ」

2月定例会の動き

2月19日(木)から3月27日(金)まで37日間にわたり開かれました。

2月19日 開会日

知事提出議案について、知事から提案説明が行われました。

2月26日・27日 代表質問 (2面)

2月26日には知事追加提出議案について、知事から提案説明が行われました。

3月2日~4日 一般質問 (3面)

2月19日に提出された議案のうち3件については急を要するため、2月26日に常任委員会で審査が行われ、3月2日に委員長報告を経て、採決が行われました。

2月26日・3月6日・25日・26日 常任委員会 (6面)

補正予算・条例などの議案の審査などが行われました。なお、3月25日に開かれた福祉保健医療委員会では、決議1件について提出することを決定しました。

3月9日 特別委員会 (6面)

八潮市道路陥没事故調査等特別委員会を開き、意見書2件について提出することを決定しました。

3月10日 本会議・特別委員会 (6面)

本会議の後、特別委員会が開かれ、付託案件の審査が行われました。
※予算特別委員会・八潮市道路陥没事故調査等特別委員会を除く。

3月11日~13日・16日・17日・19日・24日 予算特別委員会 (4・5面)

当初予算案などについての集中的な審査が行われました。

3月2日・26日・27日 委員長報告

3月27日 閉会日

各委員会の委員長報告を受けて討論・採決が行われました。

議長あいさつ

第130代埼玉県議会議長に就任いたしました荒木裕介です。

現在、全国各地で急速に進む人口減少や少子高齢化、エネルギー・食料品価格などの高騰、激甚化・頻発化する災害、さらには八潮市道路陥没事故で浮き彫りとなった老朽化したインフラの維持管理・更新など、さまざまな課題に直面しています。

特に本県は、大規模なインフラ事故が発生した県だからこそ、その教訓を生かし、防災・減災対策を強力に推進していかなければなりません。

将来にわたり安心・安全に暮らせる持続的な社会を構築するには、関係機関がこれまで以上に強固に連携してさまざまな課題に真摯に向き合うとともに、社会全体でのDX推進をさらに加速させるなど、時代の変化を見据えた、これまでにない施策にチャレンジしていくことも必要です。



埼玉県議会議長
荒木裕介



埼玉県議会副議長
吉良英敏

このような中、議会が県政の重要課題に対して監視機能を発揮するとともに、私たち議員が県民の皆さまの声に真摯に耳を傾け、そして活発に議論し、社会状況に即した政策提案を積極的に行っていくことが重要です。

二元代表制の一翼を担う県議会がその役割と責務を果たすことができるよう、微力ではありますが、これまで培った経験を生かし、公平、公正かつ円滑な議会運営に全力を尽くしてまいります。

県民の皆さまにおかれましては、今後とも県議会に対するより一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

議決の概要

● 知事提出議案

- 令和8年度埼玉県一般会計予算(5面参照)
- 令和7年度埼玉県一般会計補正予算(第8号) 歳入歳出予算補正額 236億8,570万円
- 埼玉県屋内総合プール条例
- 埼玉県県産木材利用促進条例

など83件を可決、6件に同意、1件を承認

議案別会派別
表決状況は
こちら▶



議案一覧は
こちら▶



● 議員提出議案

- 社会経済情勢を適切に反映した診療報酬の改定等を求める意見書
- 社会資本施設に起因する事故発生時における経済的損失等の補償制度の構築を求める意見書
- 埼玉県立小児医療センターにおける髄腔内注射治療後に生じた事案に伴う原因究明と再発防止の徹底を求める決議

など19件を可決

代表質問

2月26日、27日の代表質問では、会派を代表して3人の議員が質疑質問を行いました。

ホームページでご覧になれます
代表質問・一般質問の質疑質問・答弁の全文はこちらからご覧になれます。▶



2月26日(木曜日)



田村琢実 (自民)
南第6区 さいたま市見沼区



県内経済の活性化 SAITAMA ロボティクスセンター(仮称)(*1)の強化について

Q ネットワーク(*2)の深化によるロボット産業の底上げの考えは。次世代の生活支援技術の開発をどう先導するか。また、安全確保のための施策の推進や本県がロボット大国として国の施策を牽引していくための将来の成長エンジンと安全な社会基盤構築への考えを伺う。

A 他県のロボット推進組織との広域連携を推進する。生活支援ロボット開発ニーズに対応可能な実証環境を整備し後押しする。安全確保対策は関係者のネットワークなどを通じ議論を重ねる。ものづくり企業の集積や多くの企業とのネットワークなどを結集し発展に取り組む。

クビアカツヤカミキリ(*3)の早急な対策の推進について

Q 外来生物法(*4)では、都道府県が防除の実施について主体的な役割を担うことが期待されており、国も財政支援を明文化している。法律の趣旨にのっとり、県が司令塔となって全県一斉の防除体制を早々に構築し、早急に具体的アクションへ移るべきだが決意を伺う。

A 県では、県全体の被害状況調査や手引の作成、近隣県との情報共有などの取り組みを進めてきた。法律を踏まえた対応を引き続き実施するとともに、県全体を俯瞰した実効性のある防除の方針づくりや県管理の公園などで防除を強化するなどの取り組みも拡充したい。



木村勇夫 (民主フォーラム)
南第10区 さいたま市南区



知事の県政運営 未来の県庁の姿について

Q デジタル化の進展により、行政サービスの提供の形は大きく変わりつつある。県庁移転問題も含め、今後の行政運営の在り方を見据えたとき、知事が理想とする行政体としての県、そして県庁の姿とはどのようなものか、デジタルによる変革も踏まえ、その将来像を伺う。

A 県庁舎再整備に当たっては、単に建物の建て替えではなく、最新のデジタル技術を活用し、場所に縛られない柔軟な働き方ができる未来型オフィスの実現を検討している。それを試行するプロジェクトを通じて、新しい働き方に基づいた県庁の姿を実現できるよう取り組む。

私立高校の授業料実質無償化を契機とした本県の高校教育の在り方と方向性について

Q 無償化は単なる家計負担の軽減にとどまらず、本県の高校教育全体の在り方など教育政策の根幹を問い直す転換点である。無償化時代における公立・私立高校の役割と今後の方向性の考えは。無償化後を見据えた今後の私学助成制度の在り方について基本的な方針を伺う。

A 私立高校の配置状況を考慮しながら公立高校のバランスよい配置に努め、すべての生徒が通学できる環境と多様な選択肢を提供していく。県の私学助成は、**運営費補助(*5)**と**父母負担軽減事業補助(*6)**の二本柱としており、今後もこの二本柱で私学振興を推進する。

2月27日(金曜日)



浦生徳明 (公明)
南第1区 草加市



認知症支援 新しい認知症観(*7)の県民への普及について

Q 新しい認知症観を「理念」にとどめず「県民の常識」にしていくため戦略的な対応が必要。新しい認知症観の普及に資する取り組みの評価や普及の現状の見える化について所見を伺う。小学生などの若年層が「自分ごと」として認知症を学ぶ機会の確保について考えを伺う。

A チームオレンジ(*8)が約3年間で102チーム増加するなど、取り組みは着実に進んでいる。意識調査で普及状況を把握し、課題を明らかにした上で、効果的手法を検討。小中学生を対象とした講座や、漫画を活用した広報ツールの配信など若年層への普及に取り組む。

持続可能な介護 仕事と介護の両立ができる職場環境の整備について

Q 介護休業や短時間勤務制度の普及、企業へのインセンティブ付与などでビジネスケアラを支援し、仕事と介護の両立ができる職場環境を整備することは、人材の確保・定着、ひいては企業の成長にもつながる。このことを県が積極的に打ち出していくべきだがいかがか。

A 県では「多様な働き方実践企業」(*9)を認定し、入札参加資格審査時の加点措置などのインセンティブを用意することにより、企業の自主的な取り組みを促してきた。引き続き、あらゆる機会を捉え、仕事と介護の両立支援について企業に積極的に働き掛けていく。

用語解説

- *1 SAITAMA ロボティクスセンター(仮称)
市場規模拡大が見込まれる「社会的課題解決に資するロボット」の開発を支援するため、「圏央鶴ヶ島インターチェンジ」に近接した場所に整備を行っている。令和10年度の開所を目指す。
- *2 ネットワーク
「埼玉県ロボティクスネットワーク」のこと。SAITAMA ロボティクスセンター(仮称)を拠点にロボット開発に関わる多様な主体が集まり、協働して社会的課題解決に資するロボットの開発および社会実装を促進し、県内産業の振興と経済的発展を図ることを目的とした組織。
- *3 クビアカツヤカミキリ
東アジア原産のカミキリムシ科の昆虫。特定外来生物に指定され、飼育や運搬などは原則禁止。サクラ、モモ、スモモ、ウメなどの主にバラ科の樹木を加害する。年々、被害地域が拡大している。
- *4 外来生物法
「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」を指す。特定外来生物による日本の生態系などへの被害を防止し、生物の多様性の確保などを通じて、国民生活の安定向上に資することを目的とする。県は早期発見のためのモニタリングや広域的な観点からの防除、近隣県や市町村間の連携などを担う。

- *5 運営費補助(県の制度)
学校の健全な発展に資することを目的に、教職員の人件費や教育に必要な教材や備品の購入などに対し補助するもの。
- *6 父母負担軽減事業補助
授業料や入学金など保護者の経済的負担の軽減を目的とした補助。生徒および保護者が県内に在住していることや、所得など要件がある。
- *7 新しい認知症観
認知症になったら何もできなくなるのではなく、認知症になってからも、一人ひとりが個人としてできること・やりたいことがあり、住み慣れた地域で仲間などとながらながら、希望を持って自分らしく暮らし続けることができるという考え方。
- *8 チームオレンジ
認知症と思われる初期の段階から、心理面・生活面の支援を行うため、本人や家族のニーズに応じて認知症サポーターを中心

- *9 多様な働き方実践企業
仕事と家庭の両立を支援するため、テレワークや短時間勤務など、多様な働き方を実践しているとして県の認定を受けた企業。認定を受けることで働きやすい企業などとして、求人の際にアピールすることができる。また、県のホームページでも広く紹介している。
- *10 ポケモンローカル Acts
北海道や県ごとに選ばれた「推しポケモン」が、地域の魅力を国内外に発信するお手伝いをする活動(Acts)。地元の団体・企業との協力により、ラッピング電車の運行やコラボ商品の販売などが行われている。
- *11 医療的ケア児
日常生活や社会生活を送るために、人工呼吸器の使用やたんの吸引などの医療的な支援が必要な状態にある児童のこと。
- *12 ピアサポーター
同じ境遇を経験した仲間のことをピアと言いい、その経験などを生かして、支援を行う人のこと。
- *13 難病患者雇用促進アドバイザー
企業に対して難病患者の雇用を働き掛け

- *14 アウトリーチ
支援を必要とする人々に対して、行政や支援機関などが積極的に働きかけて情報などを届ける取り組み。
- *15 コネクテッド
いわゆる「つなぐ組織」。既存の中央集権的な縦割りを作り直し、県職員がさまざまな分野、仕事、課題に関わり、つながることで、課題解決力や創造性の相乗効果を生み出すこと。
- *16 DX
デジタルトランスフォーメーションのこと。最新のデジタル技術を使って生活スタイルや働き方、事業などを変革すること。
- *17 TX
タスク・トランスフォーメーションのこと。デジタルを前提として、人と機械が行うタスク、仕事を振り分け、職員がやるべき業務は人でなければならぬ業務に集中する。そして、県民サービスを向上させ、県民サービスの向上と業務効率化の実現を同時に目指すもの。

意見書・決議

意見書14件を可決し、国に提出しました。また、決議2件を可決しました。(●は全会一致での可決、○は賛成多数による可決)

- エスカレーター等の安全な利用の促進を求める意見書
- 民生委員・児童委員の担い手確保に向けた取組を求める意見書
- 高次脳機能障害者への実効的な支援の推進を求める意見書
- 医療的ケア者等及びその介護を行う家族への支援の拡充を求める意見書
- 社会経済情勢を適切に反映した診療報酬の改定等を求める意見書
- 脳脊髄液漏出症に係る後遺障害等級認定の仕組みの構築等を求める意見書
- 文化財の防火対策の抜本的強化を求める意見書
- 災害級の事故発生時の対応経費について特別交付税措置を求める意見書
- 社会資本施設に起因する事故発生時における経済的損失等の補償制度の構築を求める意見書
- 国勢調査の調査方法の見直しを求める意見書

- 子どもの医療費助成制度における窓口負担の無料化対象が拡充可能な仕組みの構築を求める意見書
- 自衛官の処遇改善及び退職自衛官の再就職支援の充実を求める意見書
- 衆議院議員総選挙(比例代表選挙区)において名簿登載者不足による議席譲渡が生じないよう公職選挙法の改正を求める意見書
- 適格請求書等保存方式(インボイス制度)の廃止等を求める意見書
- 北朝鮮による日本人拉致問題に対する理解を深めるための広報啓発を推進する決議
- 埼玉県立小児医療センターにおける髄腔内注射治療後に生じた事案に伴う原因究明と再発防止の徹底を求める決議

詳しくはこちら▶



一般質問

3月2日から4日の一般質問では、9人の議員が質疑・質問を行いました。



▲本会議の様子

会議録検索システム

本会議や予算特別委員会の詳細が分かる、会議録検索システムはこちらからご覧になれます。▶



3月2日(月曜日)



秩序あるインバウンド観光の確立のために ポケモンローカル Acts (*10)

細田善則 (自民) 南第20区 戸田市

Q 日本を代表する知的財産であるポケモンと自治体とのコラボを推進する取り組みが他県では観光施策の柱となっている。ローカル Acts サイトは受け付けが中断されているが、再開したらすぐにでも指定に向けて、趣向を凝らした提案を準備しておくべきだが見解を伺う。

A 現在、12道県が展開しているが、昨年2月から新規受け付けは停止しており、再開見込みは明らかでない。キャラクター使用料の負担なく、地域の魅力を発信でき、インバウンドも含め高い訴求力があることから、ポケモン社の動向を注視し具体的な提案を検討していく。



医療的ケア児 (*11) の災害対策・防災対策の強化について

武田和浩 (民主フォーラム) 南第6区 さいたま市見沼区

Q 医療的ケア児にとって災害は命に直結する問題だが、医療的ケア児の個別避難計画を策定している市町村は18と少ない。県は計画のマニュアルなどを作成し市町村や家族などに示すことが重要と考えるがいかがか。また市町村の取り組みをどう加速化するか見解を伺う。

A 全国の先進事例などを収集した市町村向けの手引や家族向けのガイドブックを作成し配布することで災害対応の強化を図る。県医療的ケア児等支援センターでの市町村と連携した先進的な取り組みの横展開やアドバイザー派遣などにより取り組みが加速するよう支援する。



多胎家庭への支援について

塩野正行 (公明) 南第2区 川口市

Q 多胎家庭には多胎への不安やさまざまな困難に対する具体的な支援が必要。妊娠時からの相談体制を整えるとともに保健師による新生児訪問の際、経験者が同行することも有効な取り組みとの指摘がある。ピアサポーター (*12) 育成への支援が必要と考えるがいかがか。

A 県の多胎プレママパパ教室で当事者同士の交流会を行い、ピアサポーターから経験談を聴く機会を設けた。市町村でも家庭訪問の同行や多胎家庭の交流会などで協力いただく取り組みが始まっている。今後、関係団体や有識者の意見を伺いながら育成支援を検討していく。

3月3日(火曜日)



大宮駅の「観光・情報発信ハブ」化による地域経済への波及について

栄 寛美 (自民) 東第7区 春日部市

Q 新幹線は単なる移動手段ではなく、地域と地域を繋ぐ「価値創造のプラットフォーム」へと進化すべき。新幹線が停車する重要なターミナル駅である大宮駅を「観光・情報発信ハブ」化し、地域経済をどう回していくのか、その取り組みについて所見を伺う。

A 令和8年度予算案では大宮駅東西連絡通路の中央付近に常設の県産品の販売拠点を設置する予定。JRグループと連携し、新たに設置する拠点を東日本のハブとして本県の魅力を発信するとともに、県産品の販売拡大や観光誘客を図り、地域経済に貢献できるよう取り組む。



事業者が難病患者の雇用に積極的になる制度を新たに難病患者雇用優良事業所の認証制度を創設すべき

石川忠義 (県民) 東第4区 久喜市

Q 県は令和8年度に難病患者雇用促進アドバイザー (*13) を増強するとともに、優良な事業者をモデル企業として情報発信を行う。モデル企業とは別に、事業者が直接雇用するインセンティブとなるよう難病患者雇用優良事業所認証制度を創設すべきだがいかがか。

A 難病患者の就労を増やすためには、企業へのインセンティブ付与も重要。難病患者の就労実績を積み重ね、それを模範として新しく雇用してもよいと考える企業を創出するなど、丁寧な取り組みを進め、さらなるインセンティブを付与する仕組みも今後検討を進めていく。



消費者問題について 県立消費者安全確保地域協議会見守りネットワークの設置と空白地域ゼロへ

宮崎吾一 (自民) 南第7区 さいたま市中央区

Q 悪質な商取引が地域で多発している。消費生活センターのアウトリーチ (*14) 化の促進、被害者情報の共有など、見守りネットワークの設置は全市町村で求められている。空白地域解消・機能充実のため県立消費者安全確保地域協議会の設置を進めるべきだがいかがか。

A 国のガイドラインでは協議会は基本的には住民に最も身近な市町村が主導して組織するとされており、県は設置の気運醸成に努めている。県協議会の設置により地域の見守りが効果的に進むのか、市町村の協議会の設置促進につながるかなどを見極めた上で検討していく。

3月4日(水曜日)



県の構造改革について コネクテッド (*15) 型の組織構造を

吉良英敏 (自民) 東第11区 幸手市・杉戸町

Q 現代社会が抱える課題は多様化・深刻化しており物事を分けて考え対処する縦割りの方法は限界が来ている。DX (*16)・TX (*17) を進め部局を越えた自律分散型の組織構造を作り、職員の課題解決力やパフォーマンス向上につなげていくべきだがいかがか。

A 令和8年度には既存の取り組みに対し、より効果的な対案を模索するプロジェクトチームの設置も検討している。縦割りの専門性に横の糸を刺すことによって、課題に対応できる構造改革を実現するため、今後とも力強くトップリーダーが主導する形で推進していきたい。



「空飛ぶクルマ」の就航へ向けて

小森克己 (民主フォーラム) 南第1区 草加市

Q 東京都は来年から「空飛ぶクルマ」の商用運行を予定。埼玉県でも就航すれば成田・羽田と県内都市を短時間でつなぎ、主要観光地も一日で周遊が可能になる。まず観光目的から空飛ぶクルマの就航を一早く検討し「翔(飛)んで埼玉」を目指すべきと考えるがいかがか。

A 国では実用化・商用化に向けさまざまな課題の検討を進めている段階と認識している。直ちに「翔んで埼玉」とはいかないが、空飛ぶクルマは観光誘客に寄与するだけではなく、移動手段を劇的に変える可能性を秘めていることから、引き続き国や都の動向などを注視する。



国の補正予算の執行のあり方は? 委託費用に対する考えは?

新井一徳 (自民) 南第15区 北本市

Q 国は景気対策や物価高騰支援などを目的に補正予算を成立させたが、国から自治体や民間企業などへの委託・補助金の配分過程において中間業者への委託費用が発生し、実際に支援が必要な国民や事業者に届く額が減少するという指摘がある。この現状に対する認識を伺う。

A 県では、委託の必要性の確認のほか、可能なものは複数事業の審査事務などを一括で委託するなど経費の低減に努めている。複数の見積もりを徴取し金額の妥当性も確認している。今後も、必要な支援が県民・事業者にしっかりと届くよう、効率的な予算執行に努めていく。

県議会を傍聴しませんか?

- 県議会議事堂4階の傍聴者受け付けで手続きができます。本会議の傍聴席は216席、各委員会の傍聴席は20席です。
- 本会議場では一般席とは別に子どもと一緒に気兼ねなく傍聴ができるよう親子傍聴室を設置しています。対象者は、乳幼児や児童とその保護者および引率者です。このほか、一般席での傍聴が困難な方とその付き添いの方も利用することができます。



詳しくは、ホームページをご覧ください

傍聴に関するお問い合わせ先 県議会議事事務局議事課：☎ 048-830-6238

「埼玉県議会だより」音声版・点字版について

「埼玉県議会だより」は、視覚障害者の方へデイジー版(音声のみ)や点字版を発行しています。視覚障害者またはそのご家族の方などで送付を希望される方は、埼玉県議会議事事務局政策調査課へご連絡ください。

☎ 048-830-6257



ぜひ、ご覧ください!!

県議会マスコット「ポッポ」



本会議の様子はインターネット中継でご覧になれます。右の二次元コードからアクセスできます。▶▶▶

予算特別委員会



委員長
梅澤 佳一
(自民)



副委員長
小川真一郎
(自民)



副委員長
権守 幸男
(公明)

令和8年度一般会計当初予算案などについて、部局別質疑が3月11日から13日、16日、17日の5日間にわたり行われ、19日には総括質疑が、24日には討論・採決が行われました。審査の結果21件を原案の通り可決すべきものと決定しました。

なお、一般会計当初予算案については、事業の執行に適切な対応を求める附帯決議を付すことを賛成多数により決定しました。

予算特別委員会は32人の委員で構成され、県の予算案を集中的に審査するために設けられました。部局別質疑において事業内容などを詳細に審査した後、総括質疑では13人の委員が登壇しました。

各委員の質疑に対し、一問一答の形で知事をはじめ執行部から答弁がありました。

部局別質疑から

主な質疑と答弁

介護人材の確保

Q 介護現場での人手不足の大きな要因は、他産業に比べて賃金が低いことと考えるが、どのような対策を講じていくのか。

A これまでの施策に加えて、令和8年度新たに、奨学金を返済しながら県内事業所で働く介護職員に対して奨学金返済支援を行う予算を提案している。本事業を通じて、若い世代の介護未経験者や他県の求職者に、本県の介護事業所を選んでもらえるよう促していく。また、本年6月には、臨時の介護報酬改定が予定されているが、処遇改善に関しては、今後も国に対して強く要望していく。

防犯カメラ整備事業の継続について

Q 大宮駅東口の防犯カメラ整備事業については、議会として、県の責任での継続を強く求めているが、今後どう取り組むのか。仮に、さいたま市などとの協議が整わない場合、県において事業を継続するのか。

A 大宮駅東口地区における防犯カメラの必要性は深く認識しており、さいたま市などと設置に向けた協議を継続している。協議が不調に終わることは想定していないが、令和8年12月までに協議が整わない場合は、さらに1年のリース延長が可能か検討する。

県立学校の体育館空調整備の推進について

Q 令和15年度までに整備が完了するとのことだが、整備費はどの程度か。また、部活動での使用に関するガイドラインは、いつ改定して周知するのか。

A 整備完了目標の令和15年度までの事業費は概算で、約310億円を見込んでいる。また、令和8年度の夏季間に合うよう、部活動でも使用できる運用に変更し、各学校に周知する。

EBPM(*1)を活用した事業レビュー(*2)による事業の見直し

Q 事業レビューによる見直し額は、毎年度、おおむね一定額で推移しているが、EBPMを活用し、より踏み込んだスクラップ・アンド・ビルドを図るべきではないか。

A 今年度の事業レビューでは、基金の在り方や国・市町村との役割分担の見直しなど新たな視点を加え、当初見込んでいた成果が得られていないなど、EBPM上課題のある事業について見直しを行った。その結果、一般財源ベースで53.2億円の縮減となり、前年度の見直し額43.3億円を上回る一般財源を生み出した。今後も限りある財源を効果的に活用するため、スクラップ・アンド・ビルドをさらに進めていく。

県庁舎建て替え

Q 県庁舎再整備に当たっては、単なる建て替えではなく、現代の社会情勢や将来の姿を反映した計画にすべきと考える。業務効率の向上、防災拠点としての機能強化や職員の働きやすさなどを前提とし、将来を見据えた検討が必要ではないか。

A 埼玉県県庁舎再整備懇話会からも県民の安心・安全が最優先との意見をいただいている。また、DXの進展と働き方改革を融合させ、県民の利便性や職員の生産性・創造性の向上を両立させる視点も重要であるので、整備をきっかけに、こうしたことを来年度も検討していく。

その他の主な質疑

部局別質疑から

- バーチャルユースセンターの運営
- 埼玉県歯科口腔保健センターへの支援
- RTK基地局の活用
- 計画的な県営住宅の建て替え予算編成
- 物価高騰を踏まえた事業者支援の予算編成

総括質疑から

- 未来型オフィスの整備
- 女性の活躍支援
- 行政のデジタル化の推進
- 教員の人材確保
- あと数マイル・プロジェクトの推進
- 観光施策の推進

総括質疑の詳細はこちら▶



用語解説

- *1 EBPM
エビデンス(根拠)に基づく政策立案。
- *2 事業レビュー
限られた財源や人材をより効果的な事業に重点的に配分するため、事業の見直しを行う取り組み。

総括質疑から 主な質疑と答弁

いじめ対策について

Q いじめ対策については、「福岡県いじめレスキューセンター」などの事例を参考に、多様な相談体制の構築、他部局連携、専門人材の配置など大幅な機能強化が必要だと考えるがどうか。

A 既存の電話相談窓口「子どもスマイルネット」では、いじめを含めたさまざまな相談を受け付け、適切な専門機関に直接つなげるなど、福岡県のセンターとほぼ同等の機能を有していると考えますが、他の機関や取り組みを参考にしながら改善することは非常に重要なことと考えるため、関係部局との調整や専門家への意見聴取を行いながら、他の事例を参考にしていく。

性暴力・性犯罪対策のための支援体制について

Q 性犯罪・性暴力被害者の支援センターであるアイリスホットラインについては、人手不足による相談業務の質の低下を防止し、より適切な運営を行うために、人員加配を含めた支援をすべきと考えるがどうか。

A 現在7名の相談員で対応しているが、病院への付き添い支援などの相談以外の業務では、犯罪被害直接支援員8名が援助を行っている。現時点では、相談員1日当たりの相談件数は1件に満たない状況であるため、直ちに人員加配が必要な状況にはないと判断している。

増加する外国人に対する方策について

Q 知事は県内の外国人増加による治安悪化について明確なファクト(事実)はないと答弁しているが、県民の体感治安は悪化しているという話もある。刑法犯や外国人犯罪が増加している中で、県民の体感治安を改善するためにどのように取り組むのか。

A 治安維持については知事から独立した県警察が所管している。知事ができる分野として、警察署の新設や警察官増員を進め、地域のパトロールを行う自主防犯活動団体や市町村の防犯カメラ整備の支援を行っている。引き続き、地域の治安維持体制強化に向けた支援を行うことで体感治安の改善につなげていきたい。

八潮市道路陥没事故等の対応について

Q 八潮市道路陥没事故等の対応について、汚水処理の広域化は国が推進してきた以上、国にさらなる財源を求める必要があると考えるがどうか。

A 大規模流域下水道の整備は、国の方針に基づき推進されてきたことから、国の財政支援は非常に重要だと考える。これまで国に対して、財政支援などさまざまな要望をしているが、引き続きあらゆる機会を通じ、国に要望していく。

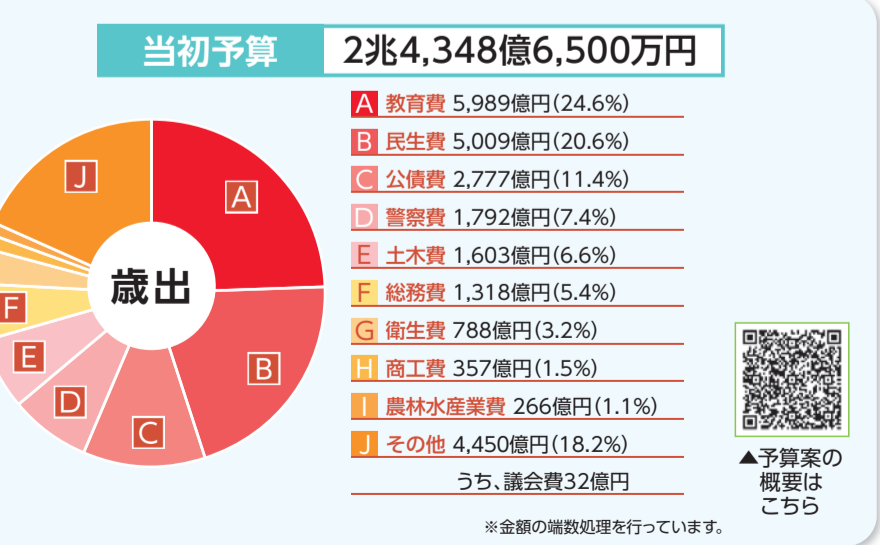
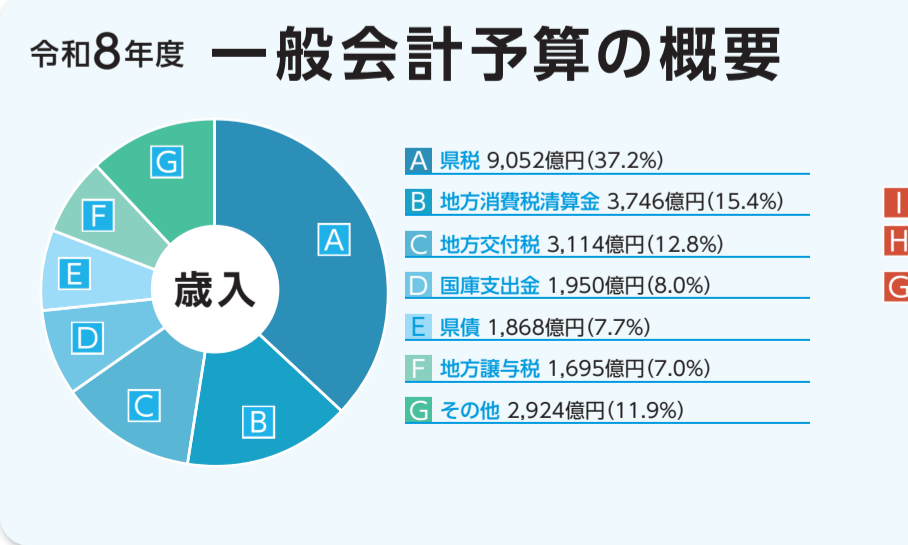


附帯決議 次の事業などについては、執行方法に関して適切に対応するよう求めました。

- 県庁舎の位置の選定
- 公立学校における生命の安全教育
- 保育士・幼稚園教諭・児童養護施設職員・介護士・看護師等の処遇改善
- アイリスホットラインの相談対応体制の強化
- いじめ対策
- 移動木造応急住宅の事業趣旨の精査と費用対効果の検証
- 県立高校体育館等への空調整備

予算特別委員会 委員名簿 (令和8年3月27日現在)

委員長	梅澤 佳一 (自民)	泉津井京子 (民主フォーラム)	城下のり子 (共産党)	杉田 茂実 (自民)	宮崎 吾一 (自民)	永瀬 秀樹 (自民)
副委員長	小川真一郎 (自民)	鈴木まさひろ (自民)	平松 大佑 (県民)	阿左美健司 (自民)	関根 信明 (自民)	荒木 裕介 (自民)
副委員長	権守 幸男 (公明)	須賀 昭夫 (自民)	八子 朋弘 (県民)	千葉 達也 (自民)	藤井 健志 (自民)	萩原 一寿 (公明)
		渋谷真実子 (自民)	松坂 喜浩 (県民)	小川 寿士 (民主フォーラム)	美田 宗亮 (自民)	水村 篤弘 (民主フォーラム)
		東山 徹 (自民)	柿沼 貴志 (自民)	中川 浩 (改革)	安藤 友貴 (公明)	高橋 政雄 (自民)
		戸野部直乃 (公明)	小川 直志 (自民)	松井 弘 (自民)	町田 皇介 (民主フォーラム)	



▲予算案の概要はこちら

委員会 レポート

2月26日、3月6日、26日に常任委員会を開き、補正予算・条例などの議案の審査などを行いました。審査の結果、議案62件を原案の通り可決すべきもの、2件に同意、1件を承認すべきものと決定しました。また、3月9日に八潮市道路陥没事故調査等特別委員会を開き、意見書2件について提出することを決定し、そのほかの特別委員会(予算特別委員会を除く。)を10日に開き、付託案件の審査を行いました。さらに、3月25日に福祉保健医療委員会を開き、決議1件について提出することを決定しました。

議会運営委員会

2月12日と定例会中の8日間、会議を開き、本会議を円滑かつ効率的に進行するため、議事日程、質疑質問者の人数、採決の方法や順序などについて会派間の協議を行いました。



常任委員会

委員長報告は
こちら▶



特別委員会

委員長報告はこちら▲



企画財政委員会

議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例の一部を改正する条例

Q 今回、議会の議決に付さなければならない契約の予定価格をどのような根拠で8億円以上と設定したのか。

A 国交省公表の建設工事費の経年変動を数値化した「建設工事費デフレーター」で、直近改正時(H3)の数値を1とし令和7年度末の数値を推計すると1.53。それを改正前の5億円に掛けると7.65億円だが物価上昇傾向を踏まえ設定した。

環境農林委員会

埼玉県県産木材利用促進条例

Q 条例を実のあるものにし、県産木材の利用促進や林道の整備などを進めるためには、県産木材を切り出して、利用していくことが重要である。予算も含めて、今後どうしていくのか。

A 県産木材の供給の土台となる森林整備の充実が重要な課題と考えている。市町村や木材関係事業者の意見も聞きながら、今後も予算の適切な確保に努めて、森林整備をしっかりと進めていく。

産業労働企業委員会

令和7年度埼玉県一般会計補正予算(第9号) 中小企業制度融資事業費の不用額について

Q 中小企業制度融資事業費の不用額は約8億円と多額であるが、予算計上の基準は何か。

A 物価高騰や人手不足などの影響が長期化する中、中小企業の資金繰りに支障がないよう融資枠を確保したが、融資枠までの利用がなく利子補給費を5億円減額。また、県内企業倒産件数の状況を踏まえ、信用保証協会の代位弁済額を見込んだが、実績が下回り県の損失補償費を3億円減額した。

文教委員会

学校職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例

Q 担任教員の子育て部分休暇での不在を保護者に対してどのように周知するのか。

A 子育て部分休暇を含めて、休暇は教員の権利でもある。学級懇談会や保護者会などの場で、担任教員だけでなく管理職の立場からも説明していく。

総務県民生活委員会

特定事業契約の変更契約の締結について

Q 令和9年7月にオープン予定の埼玉県屋内50m水泳場に関して、事業目的で定める国内主要大会とはどのようなものを想定しているのか。また、国際大会の招致も今後視野に入れていくのか。

A 日本水泳連盟が主催する全国的な大会を想定。国際大会の開催には大会運営の実績なども必要になるので、まずは国内の主要大会を誘致し将来的には国際大会の会場として選ばれるよう取り組む。

福祉保健医療委員会

埼玉県国民健康保険保険給付費等交付金及び国民健康保険事業費納付金に関する条例の一部を改正する条例

Q 子ども・子育て支援金の被保険者一人当たりの負担額はいくらか。また、今後はどのようになるのか。

A 令和8年度の負担額は年額約3,800円を予定している。また、令和8年度から令和10年度までは段階的に徴収することとされているので、令和9年度、令和10年度ともに増加すると考えている。

県土都市整備委員会

令和7年度埼玉県一般会計補正予算(第9号)および令和7年度埼玉県流域下水道事業会計補正予算(第5号) 八潮市道路陥没事故対応の経費について

Q 一般会計からの補助はどの経費に充てるのか。

A 損害賠償や工事に伴う補償など、受益者負担が適当でない経費について、一般会計から補助を受ける。今回の補正予算では、令和6年度末に発行した企業債の利子のうち、地方交付税措置を除いた352万6,000円、陥没により直接損害を受けたインフラ事業者に対する損害賠償4,757万円が一般会計から補助されることになる。

警察危機管理防災委員会

埼玉県地方警察職員定数条例の一部を改正する条例

Q 警察官175人増員だが、警察官一人当たりの負担はどの程度軽減されるのか。また、警察官の適正な必要数や目標値をどう考えているか。

A 人口では626人から617人、刑法犯認知件数では4.57件から4.50件に軽減される。人口負担を全国平均の474人まで軽減させるには、3,571人の増員が必要。まずは、近隣の水準まで負担を軽減することを目標とする。

自然再生・循環社会対策特別委員会

脱炭素社会の実現に向けた取り組みについて審査

地方創生・行財政改革特別委員会

行財政・職員の働き方改革、県庁舎の建替え等について審査

公社事業対策特別委員会

(公財)埼玉県芸術文化振興財団、(公財)埼玉県国際交流協会、(福)埼玉県社会福祉事業団における改革の取り組みについて審査

少子・高齢福祉社会対策特別委員会

高齢者への支援について審査

経済・雇用対策特別委員会

雇用対策と働き方改革の推進について審査

危機管理・大規模災害対策特別委員会

災害や危機への対応力向上に向けた訓練について審査

人材育成・文化・スポーツ振興特別委員会

グローバル人材の育成について審査

八潮市道路陥没事故調査等特別委員会

- ・復旧工事の進捗状況
- ・抜本的対策
- ・八潮市で発生した道路陥没事故に関する原因究明委員会
- ・事故から得られた課題・教訓を踏まえて
- ・財源
- ・補償の実施状況
- ・住民の声や意見書・決議などを踏まえた対応について審査

会派別所属議員数 令和8年4月15日現在	
会派名(略称)	所属議員数
自民	52人
民主フォーラム	11人
公明	9人
県民	6人
共産党	3人
改革	1人
国粋の会	1人
ネット	1人
無所属	3人
計	87人(欠員6)

埼玉県議会の令和7年度 情報公開の結果について

令和7年度に公開請求を受け付けた公文書の件数は23件でした。そのうち文書の全てを公開したものが0件、プライバシーに配慮して氏名や印影など、文書の一部を公開しない部分公開が4件、該当するものがなかったなどの理由により公開できなかったものが15件でした。なお、令和7年度に受け付けたもののうち4件を令和8年度に繰り越します。また、令和7年度に請求を受け付けた保有個人情報の開示・訂正・利用停止請求の件数は0件でした。

主要会派から ～2月定例会～



埼玉県議会自由民主党議員団

団長 **田村 琢実**

2月定例会では私が代表質問を行い、令和8年度の埼玉県一般会計予算案について、国の税制改正に伴う地方財源の確保と偏在是正について、また、誰もが暮らしやすい埼玉を創造するための取り組みについてなど、多岐にわたる提言や質問をいたしました。

一般質問では5名の議員が登壇し、国の補正予算の執行の在り方や、魅力ある県立学校の姿、ケアラー支援についてなど、幅広い分野について質問をいたしました。

また、予算特別委員会では、17名の委員がそれぞれの専門的分野を中心に質疑を行って審査をした後、県庁舎の位置の選定に当たっては、公正かつ公平な判断基準に基づき、客観的な比較検討を行うこと、保育士、介護士、看護師などについて、さらなる処遇改善を図ることなどを求める7項目の附帯決議を付することを提案し決定しました。

私たち自由民主党議員団は、県政のさらなる発展に向け、県民の皆さまのご意見・ご要望に寄り添い、県政向上のための提案を積極的に行ってまいります。



埼玉民主フォーラム

代表 **木村 勇夫**

2月定例会では、過去最大となる約2兆4,348億円の令和8年度当初予算案をはじめとする重要議案について審議を行いました。物価高や人手不足、人口減少など社会環境が大きく変化する中で、県民生活を守りながら将来に向けた投資をどのように進めていくのかが問われる議会となりました。

新年度予算案では、大野知事が掲げる「日本一暮らしやすい埼玉」の実現に向け、子育て支援の充実や防災・減災対策、道路や下水道など社会インフラの老朽化対策、産業振興などに重点が置かれています。

一方で、八潮市の道路陥没事故を踏まえたインフラの安全確保や、深刻化する人手不足への対応など、県政が取り組むべき課題もより明確になりました。

私たち埼玉民主フォーラムは、県民の声と現場の実情を踏まえた政策提言と建設的な議論を通じて、安心して暮らせる埼玉の実現に全力で取り組んでまいります。引き続き皆さまのご理解とご支援をお願い申し上げます。



埼玉県議会公明党議員団

団長 **蒲生 徳明**

今定例会は、代表質問に私が、一般質問に塩野正行議員が登壇しました。私は、県財源の確保、八潮市道路陥没事故への住民に寄り添った県の対応や、若者支援、認知症支援、介護支援、不登校対策などについて、塩野議員は、中小企業支援と県内経済の発展、双子・三つ子など多胎児を育てる家庭への支援などについて質問し、それぞれ前向きな答弁がありました。

また、予算特別委員会総括質疑では権守幸男議員が副委員長を務め、萩原一寿議員が物価高対策などについて、安藤友貴議員が中小企業等奨学金返還支援制度などについて、戸野部直乃議員が女性活躍支援などについて活発に質疑を行い、執行部から推進に向けた答弁を得ました。

新年度予算案は、わが団が求めた物価高騰対策、地域公共交通・物流、医療・介護分野などの人材確保支援、全国最多となる2年連続の警察官増員、体育館の空調整備の推進など、県民生活に直結する分野に十分な予算が確保されており、賛成しました。



無所属県民会議

代表 **井上 航**

2月定例会の予算特別委員会には、わが会派から松坂喜浩議員、八子朋弘議員、平松大佑議員の3名が臨みました。

わが会派が重視する「増加する外国人に対する方策」や「老朽化する社会インフラ対策」が盛り込まれたことなどを評価し、新年度予算案に賛成いたしました。

一方で「伊豆潮風館」の在り方に対する検討や、おおぞら号の代替施策である「障害者団体の貸切バス旅行への補助事業」については事業を進めながらも慎重に対応するよう八子議員が賛成討論の中で強く指摘しました。

また、石川忠義議員が一般質問を行い、昨夏、会派で訪れた山梨県の取り組みを参考に「難病患者の就労支援」を提案しました。知事から「国の動向を待ちたい」旨の答弁がありましたが、石川議員は再び質問まで議論を重ね「国の動きを見守りつつも準備をしっかり進めるべき」と提言し、それに応える答弁がありました。

私たちは今後も議論に議論を重ね、県民のための政治を実現してまいります。



日本共産党埼玉県議会議員団

団長 **城下 のり子**

予算案には市町に供給する県水道用水料金の2.1%値上げや子ども・子育て支援納付金を国民健康保険税に上乗せするなど県民の負担増を盛り込んでいます。党県議団は、長引く物価高騰に県民生活は一層苦しさを増しており、負担を県民に押し付けるべきではないとして一般会計予算案などに反対しました。

本定例会では党を代表して私が予算特別委員会に審査を行いました。

総括質疑では障害者更生センター伊豆潮風館の廃止検討について取り上げました。潮風館は低額な料金設定や完全バリアフリーとなっていることから、車いすの方や視覚障害者の方などの宿泊も多い施設です。廃止は認められません。「廃止を検討することは誰一人取り残さないという公約に反するのではないか」と知事に迫りました。知事は「廃止を決定したわけではない」と述べ、障害者団体などから声を聞いていくとしました。

引き続き県民の声を県政に届けるために力を尽くしてまいります。

県議会公式 YouTube



埼玉県議会公式 YouTube チャンネルでは、テレビ広報番組「こんにちは県議会です」やテレビ埼玉にて放送された各定例会の代表質問・一般質問、予算特別委員会（総括質疑）などの動画を公開しています。

分割してアップしているのので、気になる質問や見たい内容にすぐにアクセスすることができます。

また、10代・20代向けの県議会プロモーション動画「AI サポーターに聞こう！埼玉県議会の役割と私たちにできること」や子ども向けのプロモーション動画「議事堂探検隊」もご視聴いただけます。ぜひご覧ください！



県議会広報テレビ番組 テレ玉(地デジ3チャンネル)

「こんにちは県議会です」

日曜日
午前10時
から

県議会に関するさまざまな情報を分かりやすく紹介しています。

番組の最後にはプレゼントコーナーもあります。ぜひご覧ください！



進行役
森下 花音
アナウンサー

放送予定日

●正副議長・議会運営委員長
インタビュー

6月28日(10時～10時15分)

詳しい
放送スケジュールは、
随時ホームページで
お伝えいたします。▶



新議員決まる

埼玉県議会議員補欠選挙（南第2区 川口市）により、令和8年3月9日に小見山祐紀議員が、3月16日に古川圭吾議員が選出されました。



小見山 祐紀
(自民)



古川 圭吾
(国粋の会)

新たな委員会構成

※○は委員長、○は副委員長です。 令和8年4月15日現在

委員会名	正副委員長	委員
議会運営委員会 定数 17	○ 藤井 健志(自民) ○ 阿左美健司(自民) ○ 橋詰 昌児(公明)	小早川一博(公明) 金野 桃子(県民) 伊藤はつみ(共産党) 平松 大佑(県民) 杉田 茂実(自民) 町田 皇介(民主フォーラム) 横川 雅也(自民) 細田 善則(自民) 水村 篤弘(民主フォーラム) 白土 幸仁(自民) 小川真一郎(自民) 齊藤 邦明(自民) 中屋敷慎一(自民) 小島 信昭(自民)
常任委員会		
企画財政委員会 定数 12	○ 逢澤圭一郎(自民) ○ 松本 義明(自民)	橋本 健人(自民) 井上 航(県民) 橋詰 昌児(公明) 白根 大輔(民主フォーラム) 細田 善則(自民) 阿左美健司(自民) 萩原 一寿(公明) 白土 幸仁(自民) 田村 琢実(自民) 木村 勇夫(民主フォーラム)
総務県民生活委員会 定数 12 欠員 1	○ 柿沼 貴志(自民) ○ 鈴木まさひろ(自民)	金野 桃子(県民) 渡辺聡一郎(自民) 城下のり子(共産党) 宮崎 吾一(自民) 木下 博信(自民) 藤井 健志(自民) 水村 篤弘(民主フォーラム) 齊藤 邦明(自民) 蒲生 徳明(公明)
環境農林委員会 定数 11 欠員 1	○ 小川 直志(自民) ○ 戸野部直乃(公明)	山田 裕子(ネット) 泉津井京子(民主フォーラム) 長峰 秀和(自民) 石川 忠義(県民) 美田 宗亮(自民) 飯塚 俊彦(自民) 小川真一郎(自民) 小島 信昭(自民)
福祉保健医療委員会 定数 12 欠員 1	○ 松井 弘(自民) ○ 金子 裕太(自民)	伊藤はつみ(共産党) 林 薫(自民) 小川 寿士(民主フォーラム) 横川 雅也(自民) 日下部伸三(自民) 小久保憲一(自民) 梅澤 佳一(自民) 塩野 正行(公明) 田並 尚明(民主フォーラム)
産業労働企業委員会 定数 12 欠員 1	○ 関根 信明(自民) ○ 森 伊久磨(自民)	高木 功介(無所属) 須賀 昭夫(自民) 野本 怜子(民主フォーラム) 松坂 喜浩(県民) 永瀬 秀樹(自民) 新井 豪(自民) 荒木 裕介(自民) 権守 幸男(公明) 鈴木 正人(自民)
県土都市整備委員会 定数 12 欠員 1	○ 杉田 茂実(自民) ○ 小早川一博(公明)	古川 圭吾(国粋の会) 小見山祐紀(自民) 細川 威(民主フォーラム) 平松 大佑(県民) 保谷 武(自民) 小谷野五雄(無所属) 内沼 博史(自民) 岡地 優(自民) 高橋 政雄(自民)
文教委員会 定数 11	○ 渡辺 大(自民) ○ 栄 寛美(自民)	山崎すなお(共産党) 渋谷真実子(自民) 八子 朋弘(県民) 諸井 真英(無所属) 松澤 正(自民) 安藤 友貴(公明) 町田 皇介(民主フォーラム) 新井 一徳(自民) 中屋敷慎一(自民)
警察危機管理防災委員会 定数 11 欠員 1	○ 千葉 達也(自民) ○ 深谷 顕史(公明)	小森 克己(民主フォーラム) 東山 徹(自民) 武田 和浩(民主フォーラム) 中川 浩(改革) 吉良 英敏(自民) 宇田川幸夫(自民) 武内 政文(自民) 神尾 高善(自民)
特別委員会		
自然再生・循環社会対策特別委員会 定数 13 欠員 1	○ 美田 宗亮(自民) ○ 関根 信明(自民)	小早川一博(公明) 東山 徹(自民) 松本 義明(自民) 八子 朋弘(県民) 小川 寿士(民主フォーラム) 諸井 真英(無所属) 細田 善則(自民) 新井 豪(自民) 神尾 高善(自民) 木村 勇夫(民主フォーラム)
地方創生・行財政改革特別委員会 定数 13 欠員 1	○ 藤井 健志(自民) ○ 杉田 茂実(自民)	橋本 健人(自民) 渋谷真実子(自民) 城下のり子(共産党) 保谷 武(自民) 井上 航(県民) 横川 雅也(自民) 小久保憲一(自民) 田村 琢実(自民) 塩野 正行(公明) 田並 尚明(民主フォーラム)
公社事業対策特別委員会 定数 13	○ 内沼 博史(自民) ○ 逢澤圭一郎(自民)	高木 功介(無所属) 山崎すなお(共産党) 金野 桃子(県民) 渡辺聡一郎(自民) 林 薫(自民) 宮崎 吾一(自民) 白根 大輔(民主フォーラム) 町田 皇介(民主フォーラム) 権守 幸男(公明) 武内 政文(自民) 小島 信昭(自民)
少子・高齢福祉社会対策特別委員会 定数 13 欠員 1	○ 永瀬 秀樹(自民) ○ 柿沼 貴志(自民)	小森 克己(民主フォーラム) 長峰 秀和(自民) 須賀 昭夫(自民) 深谷 顕史(公明) 中川 浩(改革) 石川 忠義(県民) 日下部伸三(自民) 水村 篤弘(民主フォーラム) 齊藤 邦明(自民) 高橋 政雄(自民)
経済・雇用対策特別委員会 定数 13 欠員 1	○ 飯塚 俊彦(自民) ○ 橋詰 昌児(公明)	山田 裕子(ネット) 小見山祐紀(自民) 森 伊久磨(自民) 細川 威(民主フォーラム) 平松 大佑(県民) 千葉 達也(自民) 宇田川幸夫(自民) 白土 幸仁(自民) 中屋敷慎一(自民) 蒲生 徳明(公明)
危機管理・大規模災害対策特別委員会 定数 13 欠員 1	○ 木下 博信(自民) ○ 松井 弘(自民)	泉津井京子(民主フォーラム) 鈴木まさひろ(自民) 戸野部直乃(公明) 伊藤はつみ(共産党) 松坂 喜浩(県民) 金子 裕太(自民) 小川 直志(自民) 小谷野五雄(無所属) 新井 一徳(自民) 梅澤 佳一(自民)
人材育成・文化・スポーツ振興特別委員会 定数 13 欠員 1	○ 松澤 正(自民) ○ 萩原 一寿(公明)	古川 圭吾(国粋の会) 栄 寛美(自民) 野本 怜子(民主フォーラム) 渡辺 大(自民) 武田 和浩(民主フォーラム) 安藤 友貴(公明) 岡地 優(自民) 阿左美健司(自民) 小川真一郎(自民) 鈴木 正人(自民)
八潮市道路陥没事故調査等特別委員会 定数 14	○ 宇田川幸夫(自民) ○ 逢澤圭一郎(自民)	渡辺聡一郎(自民) 細川 威(民主フォーラム) 伊藤はつみ(共産党) 松坂 喜浩(県民) 木下 博信(自民) 美田 宗亮(自民) 松澤 正(自民) 橋詰 昌児(公明) 町田 皇介(民主フォーラム) 細田 善則(自民) 小島 信昭(自民) 蒲生 徳明(公明)
図書室委員会 定数 14	○ 逢澤圭一郎(自民) ○ 松井 弘(自民)	小早川一博(公明) 山崎すなお(共産党) 細川 威(民主フォーラム) 平松 大佑(県民) 金子 裕太(自民) 小川 寿士(民主フォーラム) 美田 宗亮(自民) 安藤 友貴(公明) 内沼 博史(自民) 岡地 優(自民) 新井 一徳(自民) 神尾 高善(自民)



オール埼玉で魅力を発信! 一本会議ほかで県産いちごをPR

2月19日(木)、2月定例会開会日の本会議で、大野元裕知事をはじめとする執行部と白土幸仁議長など議員全員がいちごの法被などを着用し、県産いちごのPRを行いました。

本会議終了後、埼玉県議会農業・林業振興議員連盟(神尾高善会長)主催による県産いちごのPRイベントが行われ、白土幸仁議長や飯塚俊彦副議長をはじめとする多くの県議会議員と知事などが参加しました。

3年連続で全国唯一の「プレミアムいちご県」に認定され、注目を集めている埼玉県。県産いちごのさらなる躍進に向け、議会と執行部が一丸となり、その魅力を発信していく決意を新たにしました。



▲本会議で法被を着用した様子



▲県産いちごPRイベントであいさつをする神尾高善会長(中央)

県議会クイズ

プレゼント
図書カード(1,000円分) 20名様

Q ○○○に当てはまる言葉は何でしょう。

ヒント
1面をよ〜く読んでね!



今年1月、○○○と県議会議員との意見交換会を開催しました。

はがきに右記のようにご記入の上、5月20日(水)(当日消印有効)までにお送りください。正解者の中から抽選でプレゼントを差し上げます。
当選者の発表は、プレゼントの発送をもって代えさせていただきます。
対象は、埼玉県内に在住・在勤・在学している方のみとなります。



◀県議会ホームページからも応募いただけます。

【個人情報の取り扱い】応募はがきは、抽選とプレゼントの発送以外の目的には使用いたしません。

- 85円 〒330-9301 埼玉県議会事務局 政策調査課 県議会クイズ係
- クイズの答え
 - 郵便番号
 - 住所
 - 通勤通学先の市町村名(県外にお住まいの方のみ)
 - 氏名・年齢
 - 埼玉県議会だよりに関するご意見

県議会公式 X のご案内

県議会の公式Xでは、定例会情報やテレビ番組の放送案内、県議会で開催するイベント情報などを随時お知らせしています。議事堂に飾られる生け花も紹介しています!

@saitamakengikai で検索してね!

県議会マスコットの「ポッポ」がつぶやくことがあるかもしれません。ぜひフォローしてチェックしてみてください!

